

単元名 長さ

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 測定の意味、普遍単位「cm」と「mm」、直線の意味を理解し、ものさしを使って身近な物の長さを測定したり、長さの計算をしたりすることができる。
- (2) 普遍単位の必要性や測定の仕方について考えることができる。
- (3) 長さの測定に興味をもち、進んで身近な物の長さを測定しようとする。

標準的な展開例

02040105_001

【準備等】ものさし、30cmものさしで測ることのできる物、数図ブロック、ひも、紙テープ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 身近にある物を使ってものの長さを比べ、測り方に興味をもつ。[p.34・p.35]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○挿絵から、2つの長さを任意単位で比べていることを知る。 ○単元の学習課題をつかむ。 ★ものの長さのはかり方をしらべていこう。 ○任意単位での測定で起こる問題点について話し合い、普遍単位の必要性を知る。 ○長さの単位cmを知り、書き方を練習する。 <p>2 長さの単位cmを知り、いろいろな物の長さを測る。[p.36・p.37]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ものさしを使って、りすの釣った魚の長さを測る。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★ものさしをつかって長さをはかろう。 ○ものさしを使って長さを測る仕方について考える。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>3 長さの単位mmを知り、いろいろな物の長さを測る。[p.38]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★1cmよりみじかい長さのあらわし方を知ろう。 ○長さの単位mmを知る。 ○mmの書き方を練習する。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>4 ものさしを使って、直線の長さをmm単位まで測ったり、cmやmmを使って長さを表したりする。[p.39]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★8cm5mmが何mmになるかを考えよう。 ○直線の意味を知る。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>5 ものさしを使って直線を書く。[p.40・p.41]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★ものさしをつかって直線をかいてみよう。 ○7cmの長さを、ものさしで書く。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>6 10cmの量感をつかむ。[p.42]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○紙テープを10cmと思う長さに切り、実測する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★10cmの長さをつくってみよう。 ○手や指を使って10cmの長さを作る。 ○身の回りの物の中から10cmに近い物を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・任意単位では不都合が起こることから、普遍単位の必要性を感じられるようにする。 ・1年生で長さ比べをした経験を想起させる。 ・数図ブロックなど（任意単位）を使って調べさせる。 ・話し合いを通して共通単位の必要性に気付かせた後、普遍単位があることを知らせる。 【評】普遍単位の必要性について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・大きさや書き順に気を付けて練習させる。 ・測定を通してcmの読み方や書き方を繰り返し学習させる。 ・P.147の「紙のものさし」を使用させる。 ・1目盛りが1cm、1cmの8つ分で8cmとなることを押さえる。 ・左端をそろえて測る、測る物にまっすぐ合わせるなどの手順を押さえる。 ・正しい長さを知るために、1cm単位では表せない場合があることに気付かせる。 【評】cm単位で長さを測る活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・測定を通してmmの読み方や書き方を繰り返し学習させる。 ・紙のものさしと市販のものさしを比べて、1cmと1mmの関係をつかませる。 ・大きさや書き順に気を付けて練習させる。 【評】ものさしを使ってmm単位まで測定する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・単位の換算では形式的に換算をさせるのではなく、1cmを単位として見たときと1mmを単位として見たときの意味を理解させる。 ・長さを何cm何mmと答えさせ、その後mmだけで表させる。 ・「1cm=10mm」を基に、考えさせる。 ・曲線や折れ線を提示し、直線との区別ができるようにする。 【評】長さを複名数で表す活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・決められた長さの直線を書く方法を理解させる。 ・2つの点を書いて、それを結んで直線を引くように指導する。 【評】決められた長さの直線を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・自分の体の部分や身の回りの物と関連付けることで量感をつかませるようにする。 ・グループで誰が一番10cmに近いかわ比べさせてもよい。 ・およその長さを調べることを知らせる。 ・ペアになり、片方の児童が作った長さをもう一人がものさしで測るようにさせるとよい。 ・繰り返し、繰り返し下がり注意させる。 【評】10cmに近い物を探す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

<p>7 身の回りの物の長さを予想し、測る。[p. 43]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 10cmの長さをもとにいろいろなものの長さをよそうしてしらべよう。 ○ 測るものを探し、その長さを予想する。 ○ 実際に測る。 ○ 身の回りの物の中から20cmに近い物を探す。 <p>8 簡単な長さの加減計算をする。[p. 44・p. 45]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長さをたしたりひいたりすることが必要な場面を考える ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 長さの計算のしかたを考えよう。 ○ $\bigcirc\text{cm}$ $\bigcirc\text{mm}$ \pm $\bigcirc\text{cm}$の計算の仕方を考える。 ○ 繰り上がりのあるたし算やひき算によって、答えが何cmになる計算に取り組む。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>9 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 46・p. 47]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「たしかめよう」に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見積もってから測定させることで、量感をつかませるようにする。 ・ 前時に手や指で10cmを作ったことを想起させ予想させる。 ・ p. 147の「べんりなものさし」も使用できる <p>【評】長さを適切に予想し、測って調べる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算の後で実測して、計算の仕方が正しいことを理解させる。 ・ 同じ単位同士で計算することに気付かせる。 ・ 空位になる場合、0 mmなどと書かないよう注意させる。 <p>【評】長さに関する加減計算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。 ・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。 <p>【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長さについて分かったことや面白かったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。
---	---

【 備 考 】

本単元では、長さの測定について普遍単位「cm」と「mm」を用いることを学習する。単元の導入に当たっては、日常生活でよく使われる普遍単位の必要性を感じさせることが大切である。測定の仕方や与えられた長さのかき方、長さの計算の仕方は、十分な習熟を図ることで確実に身に付けさせたい。また、実生活と関連させるなど、長さの量感を育て学習の意味を実感させたい。